

現行の那賀川水系河川整備計画の 課題について

平成26年9月29日

四国地方整備局
徳島県

■ 現行の那賀川水系河川整備計画の課題について

現行整備計画の課題

第3回那賀川学識者会議の課題

- ① 今後予想される南海トラフ巨大地震等に備え、堤防等の耐震対策等を早急に実施するため、河川整備計画の変更が必要
- ② 宮ヶ谷川(県管理区間)は、平成21年8月豪雨において、大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、河川整備計画の変更が必要

新たな課題

- ③ 台風11号により、那賀川(古庄観測所、和食観測所)の流量(速報値)が河川整備計画の目標流量を超過した。
- ④ 台風11号では、河川整備計画に位置付けていない阿井地区などで那賀川の氾濫による浸水被害が発生した。

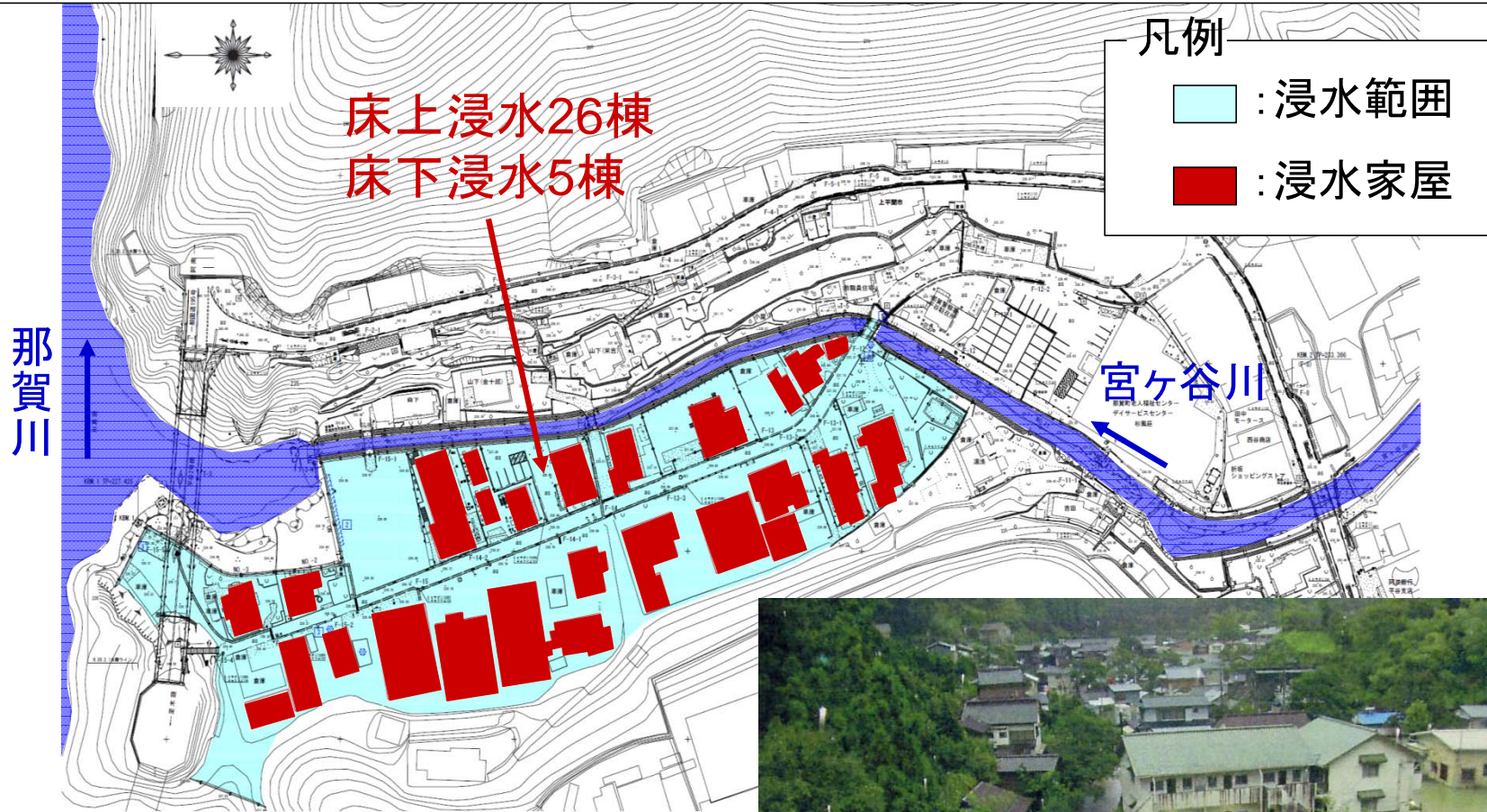
①地震・津波対策(高潮対策・耐震対策)

- 那賀川は、南海トラフを震源とする地震による大きな揺れや地震発生後に来襲する津波によって大規模な被害が想定される。
- 施設画上の津波に対して、既定計画に位置付けされた堤防の整備(高潮区間)と併せて耐震対策を実施し、被害を防止する必要がある。



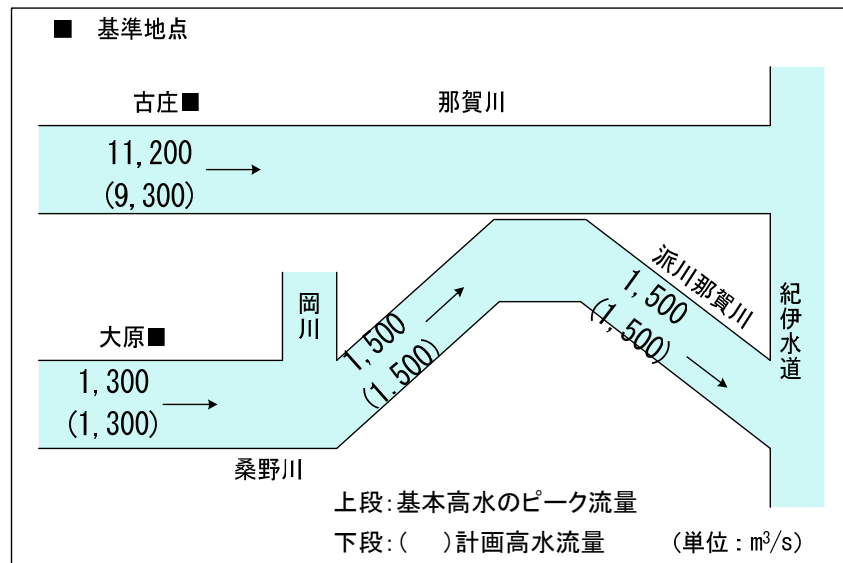
② 宮ヶ谷川改修方式の変更

■宮ヶ谷川では、河川整備計画策定後に発生した平成21年8月豪雨時において、大規模な浸水被害(床上26棟、床下5棟)が発生したことを踏まえ、改修方式を変更する。



③河川整備計画の目標流量について

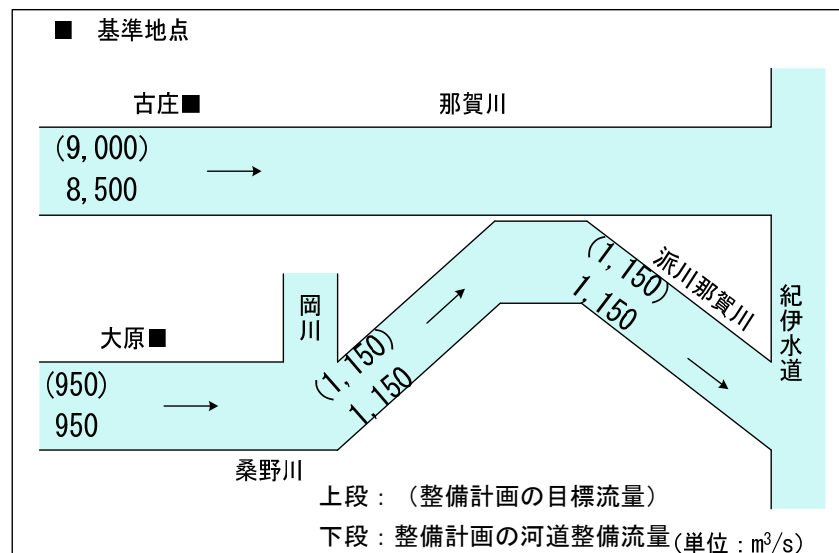
河川整備基本方針(H18)



河川整備計画(H19)

■長安口ダム改造事業の完成までに、上流無堤地区の深瀬・加茂・持井地区の築堤を実施、南岸堰上流の河道掘削を実施し上下流バランスを確保。

【8,500m³/s流下断面確保】 (ダムカット500m³/s)

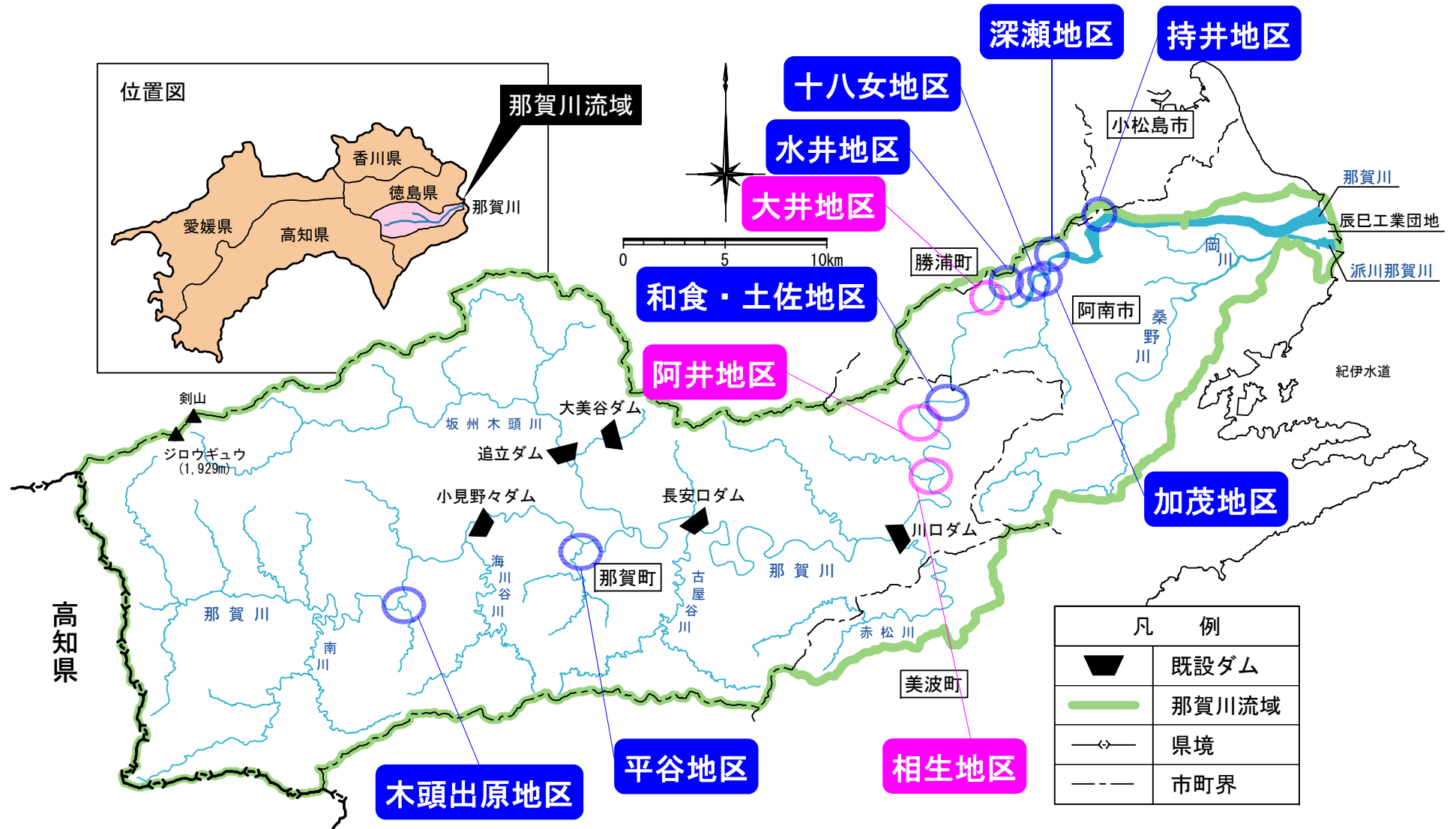


検討予定

平成26年台風11号の発生

■基準地点の古庄観測所で約9,500m³/s(速報値)を観測。

④台風11号での那賀川の氾濫による浸水被害発生箇所について



凡例

- : 現行整備計画に位置付けられていない箇所
- : 現行整備計画に位置付けられている箇所